

1.技 術	1.1 海水淡水化
2.事 業 名	1.1.9 小型逆浸透膜海水淡水化展示装置の製作および運転展示
3.キーワード	小型逆浸透膜、海水淡水化、水の科学館、運転展示
4.目 的	<p>都市周辺地域では渇水や緊急災害の危険が指摘され、海水淡水化による緊急用の水供給設備の需要が高まっている。しかし、大都市臨海部の閉鎖的な内海や湾内は、都市排水等の流入による汚濁や富栄養化が恒常化しており、これまでの海水淡水化システムでは対応が困難な状況である。これに対応して平成 18 年度までに、これら汚染海水に対応して、膜ろ過式前処理および逆浸透膜淡水化プロセスの最適化を検討し、生物活性炭処理法の膜ろ過・逆浸透膜性能に及ぼす効果を明らかにしてきた。</p> <p>平成 19 年度は、これらの成果を基に、小型逆浸透膜海水淡水化展示装置を設計・製作し、東京都の「水の科学館」で運転展示する計画であったが、維持管理の容易な装置模型とコンピューターグラフィック等で長期展示するように要望があり、それに従い、全体計画を変更し、展示装置およびコンピューターグラフィック等の設計・製作を行い、東京都水道局研修開発センター内に展示する事とした。現在、同センターへの見学者、研修者等に向けて海水淡水化の普及導入・広報活動を実施しているところである。</p> <p>これにより、逆浸透膜法海水淡水化に関する理解が進み、同時に、これまで技術開発を行ってきた閉鎖海域での海水淡水化技術の啓蒙・普及促進が期待される。</p>
5.参 照	(財)日本自転車振興会